

Adsterol は分化癌に集中し、未分化癌にはほとんど認められなかった。

得ることを確かめた。

17. Partial Renogram と Sequential Renoscintigram

甲斐田健治郎
(福岡県立柳川・児)

矢野 潔 古賀 尚充
(同・放)

行徳公昭
(同・泌)

尾関巳一郎
(久大・放)

従来の左右それぞれの腎全体から得られるレノグラム(これを便宜上 Total Renogram と呼ぶ)の型による分類および半定量的評価法では、その判定に苦しむことがしばしばある。われわれは、2, 3 の基礎的実験を行ない、腎の皮質側と腎盂側を Digital Switch で設定しそれぞれの部位別の Renogram (これを Partial Renogram と呼ぶ) をとり、これを臨床的に応用し有用な成果を得てきた。ところが Partial Renogram は皮質側に障害が強い場合に腎盂側の障害を把握し得ないことがある。そこでこの欠点を補うべく、Sequential Renoscintigram との相関を考察した。

使用した RI は ^{99m}Tc -DTPA および ^{99m}Tc -DMSA である。健康正常児 18 例について両者の各 peak に達する時間と像の経時的变化を検討し、これを臨床的に応用し、より一層の情報源となり

18. ^{201}Tl -chloride による悪性腫瘍の診断

矢野 潔
(県立柳川・放)

尾関巳一郎 菊地 茂

河野 彬 古川 保音

森田誠一郎

(久大・放)

^{201}Tl -chloride は元来心筋スキャン用に開発されたものであるが、われわれは悪性腫瘍の診断に利用し、好成績をおさめたので報告する。

^{201}Tl -chloride による腫瘍シンチは注射直後より 24 時間まで Image をうることができるが、直後では Back ground が多く、また時間が経過すると activity が減少する傾向にあるので、2~3 時間少なくとも 6 時間以内が最適のようである。

^{201}Tl -chloride は当然心を描写するが、肺シンチにおいては肺腫瘍と心との区別は比較的容易であるが、腫瘍が心陰影と重なるような場合には、注意が必要であろう。腹部においては ^{201}Tl -chloride が accumulat する臓器が比較的多いので、腫瘍の delineation には注意が必要である。

^{201}Tl -chloride は低エネルギーで半減期は短く、投与後数時間で腫瘍のシンチ像を得ることができ、また検出率も比較的高く、Tumorscan agent として有望なものといえるようである